

氷見ロータリークラブ会長就任挨拶

2026－2027年度

氷見ロータリークラブ

会長 濱井 信



この度、第58代氷見ロータリークラブ会長に就任いたしました。

甚大な被害を受けた能登半島地震から2年半が過ぎ、市外・県外はもとより全国・世界中から多大なご支援、ご協力を賜り、改めまして心から厚く御礼を申し上げます。

私たちが住む氷見市では、現在も復旧復興に向けて進めているところですが、まだまだ震災での被害の大きさを忘れることなく会員一同、心の安らぎが大事であると認識し活動を進めているところであります。

2026－2027年度 RI 会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、人生を変えるようなロータリーの体験を通じて「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼び掛けております。ビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放つ。そして成果だけでなくインパクトを重視することだと表現し、持続可能にしていくのだと呼びかけています。

2026－2027年度2610地区 翠田 章男ガバナーは、RI 会長のメッセージである持続可能なインパクトを生み出すためには、社会奉仕活動や職業奉仕においても、ロータリアンは社会的価値と経済的価値の共創を目指そうと解いたのです。

これは私たち会員に、より考え、よりインパクトのある事業を進めることでさらに学び、多くの気づきが得られるのだと聞こえてきます。そして誰もが笑顔で楽しい居心地の良いクラブになることが会員の増強や奉仕活動が充実したものになるのだと信じます。1年間頑張ってください！